

収入計算書〔前年（平成 25 年 1 月～ 12 月）用〕

私は、日本学生支援機構の奨学金を申し込むにあたり、収入に関する状況は以下のとおりであることを報告します。また、この収入計算書に基づき奨学金の申込み（「スカラネット」への入力）を行います。

○学校名 _____ 大学 _____ 研究科 _____
 ○課程（該当の数字に○）：
 1. 修士・博士前期課程 2. 博士後期課程 3. 博士医・歯・獣医・薬（4 年制）学課程 4. 法科大学院

○氏名 _____ (印) _____ ○学籍番号 _____

〔各項目 1 万円未満切り捨て〕

1. 前年（平成 25 年 1 月～ 12 月）の収入額 【証明書必要】			2. 申込者本人 1 人にかかる前年（平成 25 年 1 月～ 12 月）の支出額 【申告のみ：証明書不要】	
	収入項目	収入額 (A)	支出項目	支出額
定職 (○)	定職 1 (本人)	(年額) _____ 万円	日常生活費（食費・住居費・光熱費等）(☆)	(年額) _____ 万円
	定職 2 (配偶者) [該当者のみ]	(年額) _____ 万円	授業料	(年額) _____ 万円
アルバイト (○)	アルバイト 1	(年額) _____ 万円	通学費（定期代等）	(年額) _____ 万円
	アルバイト 2	(年額) _____ 万円	その他の費用 (書籍費・遊興費・課外活動費 等)	(年額) _____ 万円
	アルバイト 3	(年額) _____ 万円	支出額合計 (※)	(年額) _____ 万円
父母等からの給付額 (★)		(年額) _____ 万円	[記入時の注意事項]	
奨学金		(年額) _____ 万円	◎複数あって欄が不足する場合は、合計額を記入（アルバイトは 1・2 に記入後、3 に残りをまとめて記入）。ただし、証明書は全て提出してください。	
その他の収入（利子・配当・預貯金の取崩等）		(年額) _____ 万円	★計上する場合、前年用裏面に月別内訳を可能な限り記入してください。また、父母等給付者の自署・押印が必要です。	
ア	収入額合計 (※)	(年額) _____ 万円	☆ <u>自宅通学者は、世帯一人当たりの経費（世帯年間経費／家族人数）を記入してください。</u>	

※「収入額合計」≧「支出額合計」とならない場合は、収入額を再度確認してください。

・前年収入額合計（ア）と本年見込収入額合計（イ）を比較してください。
 ①ア＝イまたはイ記入無し：前年用の収入額（A）の各項目についてスカラネット入力
 ②ア<イ：本年見込用の収入額（B）の各項目についてスカラネット入力
 ③ア>イ：前年用と本年見込用の収入額（(A) かつ (B)）の各項目についてスカラネット入力
 ・必要となる証明書は裏面に添付してください。 [裏面に添付]

前年用（裏） 【用紙②】

証明書貼付欄

・証明書は、この欄に本紙と上下の向きをそろえて、ホッチキスで上部2点を留めてください。

学校指定の様式がある場合はそちらに貼付してください。

その場合、本用紙への貼付は不要です。

書類の提出方法については、学校の指示に従ってください。

自宅生については
 「日常生活費（世帯経費／家族数）」
 も父母からの給付になります。
 父母へお金を入れている場合はその金額を差し引いてください。

裏面についてはHPから様式：収入計算書（父母等からの給付額について）をプリントアウトし利用してもかまいません。

★父母等からの給付額について

下記の者が日本学生支援機構の奨学金を申し込むにあたり、申込者本人への給付額については、以下のとおりであることに相違ありません。

○申込者氏名 _____

必ず父か母に自署・押印をお願いすること

○給付者氏名【自署・押印】 _____ (印) ○申込者との関係（続柄） _____

[各項目 1円単位：合計欄のみ1万円未満切り捨て]

平成25年	日常生活費 (食費・住居費等)	授業料	通学費 (定期代等)	小遣い・ その他	平成25年	日常生活費 (食費・住居費等)	授業料	通学費 (定期代等)	小遣い・ その他
1月	円	円	円	円	8月	円	円	円	円
2月					9月				
3月					10月				
4月					11月				
5月					12月				
6月					小計	円	円	円	円
7月					合計				万円

[月別に記入できない場合は、年額のみを小計欄・合計欄に記入してください。]

前年用（裏）

前年用（裏）が長辺の向きで記入してください。

本用紙は、「A3 サイズ 1 枚」により構成されています。
「奨学金案内」冊子及び【用紙①】より外してご利用ください。

【用紙②】

本年見込用
(表)

収入計算書 [本年見込 (平成 26 年 1 月～12 月) 用]

私は、日本学生支援機構の奨学金を申し込むにあたり、収入に関する状況は以下のとおりであることを報告します。また、この収入計算書に基づき奨学金の申込み（「スカラネット」への入力）を行います。

○学校名 _____ 大学 _____ 研究科 _____

○課程（該当の数字に○）：

1. 修士・博士前期課程 2. 博士後期課程 3. 博士医・歯・獣医・薬（4年制）学課程 4. 法科大学院

○氏名 _____ (印) _____ ○学籍番号 _____

【収入の状況】（A・B の該当する方に、「○」を付けてください。）

A	本年見込の収入については、前年の収入金額に対して、変動はありません。	⇒	<ul style="list-style-type: none"> 以下、記入不要。 「1. 本年の収入見込額」の証明書も提出不要。
B	本年見込の収入については、前年の収入金額に対して、変動しますので、以下のとおり報告します。	⇒	<ul style="list-style-type: none"> 1.2. の各項目を全て記入（前年と変動のない同じ項目も同じ金額を記入）。 1. の証明書は変動のあるもののみ提出。

[各項目 1 万円未満切り捨て]

1. 本年（平成 26 年 1 月～12 月）の収入見込額 【証明書必要】			2. 申込者本人 1 人にかかる 本年（平成 26 年 1 月～12 月）の支出見込額 【申告のみ：証明書不要】	
	収入項目	収入額 (B)	支出項目	支出額
定職 (○)	定職 1 (本人)	(年額) _____ 万円	日常生活費（食費・住居費・光熱費等）(☆)	(年額) _____ 万円
	定職 2 (配偶者) [該当者のみ]	(年額) _____ 万円	授業料	(年額) _____ 万円
アルバイト (○)	アルバイト 1	(年額) _____ 万円	通学費（定期代等）	(年額) _____ 万円
	アルバイト 2	(年額) _____ 万円	その他の費用 (書籍費・遊興費・課外活動費 等)	(年額) _____ 万円
	アルバイト 3	(年額) _____ 万円	支出見込額合計 (※)	(年額) _____ 万円
	父母等からの給付額 (★)	(年額) _____ 万円	[記入時の注意事項] ◎複数あって欄が不足する場合は、合計額を記入（アルバイトは 1・2 に記入後、3 に残りをまとめて記入）。ただし、証明書は全て提出してください。 ★計上する場合、本年見込用裏面に月別内訳を可能な限り記入してください。また、父母等給付者の自署・押印が必要です。 ☆ <u>自宅通学者は、世帯一人当たりの経費（世帯年間経費／家族人数）を記入してください。</u>	
	奨学金	(年額) _____ 万円		
	その他の収入（利子・配当・預貯金の取崩等）	(年額) _____ 万円		
イ	収入見込額合計 (※)	(年額) _____ 万円		

※「収入見込額合計」 ≥ 「支出見込額合計」とならない場合は、収入見込額を再度確認してください。

・必要となる証明書は裏面に添付してください。 [裏面につづく]

本年見込の収入について、前年と変動しない場合、この面の記入は必要ありません。

本年見込用
(裏)

【用紙②】

証明書貼付欄

- ・証明書は、この欄に本紙と上下の向きをそろえて、ホッチキスで上部2点を留めてください。
- ・収入年額の推算が必要な場合は、下部スペースに計算式を記載し、推算した年額を表面記入欄に記入してください。

学校指定の様式がある場合は、そちらに貼付してください。
この場合、本用紙への貼付は不要です。
書類の提出方法については、学校の指示に従ってください。

自宅生については「日常生活費(世帯経費/家族数)」も父母からの給付になります。父母へお金を入れている場合はその金額を差し引いてください。
裏面についてはHPから様式:収入計算書(父母等からの給付額について)をプリントアウトし利用してもかまいません。

★父母等からの給付額について

下記の者が日本学生支援機構の奨学金を申し込むにあたり、申込者本人への給付額については、以下のとおりであることに相違ありません。

必ず父か母に自署・押印をお願いします

○申込者氏名 _____

○給付者氏名【自署・押印】 _____ (印) ○申込者との関係(続柄) _____

【各項目 1円単位：合計欄のみ1万円未満切り捨て】

平成26年	日常生活費(食費・住居費等)	授業料	通学費(定期代等)	小遣い・その他	平成26年	日常生活費(食費・住居費等)	授業料	通学費(定期代等)	小遣い・その他
1月	円	円	円	円	8月	円	円	円	円
2月					9月				
3月					10月				
4月					11月				
5月					12月				
6月					小計	円	円	円	円
7月					合計	万円			

【月別に記入できない場合は、年額のみを小計欄・合計欄に記入してください。】

本年見込用 (裏)

前年見込と本年見込の差額を記入する欄は、左ページに記入してください。